

皆野・長瀬ロータリークラブ

週報

- ◇例会日
- ◇例会場
- ◇事務所



第1・第2木曜日 12:30~13:30 第3・第4木曜日のいずれか 18:30~19:30
 長瀬レクリエーションホテル 養浩亭
 〒369-1305 秩父郡長瀬町長瀬1446 養浩亭内
 Tel:0494-66-4134 / Fax:0494-66-4134 e-mail:minanaga@chichibu.ne.jp

CREATE
LASTING
IMPACT

持続可能なインパクトを生み出そう

第1733回例会 令和8年7月2日(木)

【会長の時間】

山田 利明

皆さん、こんにちは。会長の時間という事ですが、今回で6回目の会長職になると思います。長年やっているとマンネリ化してきて、今年は最後になると思いますが。

新しい会員の方が何名かいるので、皆野・長瀬ロータリークラブの歴史についてお話していきたいと思います。

当クラブは40年前ですか、最近秩父ロータリークラブで亡くなった方が、会長の時に皆野・長瀬ロータリークラブを創立しました。初代の会長が山口仁平さんです。現在は名誉会員として在籍していただいております。90才を過ぎていていると思います。

その頃は会員数は40名くらいでした。例会場は埼玉りそな銀行皆野支店の会議室でした。りそな銀行がロータリー創立を仕掛けたという事で、例会場は2階の会議室だったそうです。創立時には何名かが秩父ロータリークラブから移籍してきたそうです。最近まで在籍してい新井通雄さんも移籍してきた一人でした。

私が入会したのが、1993年で新井通雄さんが会長、杉田さんが幹事の時でした。その当時は大沼さん、五ノ神薬局さん、長瀬は長瀬幼稚園の理事長、ドライブインを経営していた村田さん等がいました。私は入会当初は真面目に例会出席していませんでした。吉田町長、皆野町長、もう一人議員さんもいました。山口仁平さんは県議でした。他に足利銀行の支店長などもいて、賑やかでした。

その後、例会場を皆野町商工会議所に移し、お昼のお弁当だったのですが、直前まで人数が決まらずに大変だった思いがあります。幹事が担当だったと思います。

【幹事報告】

小埜 和也



1. 埼玉県腎・アイバンク協会より総会資料
2. 秩父音頭まつり実行委員会より協賛のお願い
3. 船玉まつり実行委員会より協賛のお願い

【理事役員会報告】

プログラムについて

7月	2	木	通常例会(会長所信表明)	理事役員会
	9	木	休会	
	16	木	通常例会(各委員会発表)	
	23	木	休会	
	30	木	親睦例会	
8月	6	木	通常例会	理事役員会
	13	木	休会	
	20	木	通常例会	
	27	木	親睦例会	



四つのテスト

板谷 定美会員

ロータリーは奉仕という中で、今回も奉仕の精神に基づいて、いろいろな役が決まりました。

職業奉仕は何かと考えていますが、これといった答えが見つかりません、両者が喜んでくれるような事が職業奉仕になるのかなと考えます。今回、子どもと家庭奉仕という委員会の担当という事で、何だろうと疑問に思いました。

ニコニコボックス

- ♪ 令和8年空9年、会長としてお世話になります。6回目だと思います。よろしくお願いいたします。 山田 利明
- ♪ 新年度スタート！よろしくお願いいたします。台湾も素晴らしいかったです。バルセロナも一緒に行きましょう。(国際大会推進副委員長も頑張ります) 小埜 和也
- ♪ 私のお金は働きものです。 高田 富康
- ♪ 埼玉国際医療センター、昨日(7/1)卒業しました。 板谷 定美

合計 8,000 円

出席率 85.7%

会長所信表明

山田 利明

一年間、よろしくお願いいたします。ガバナー方針を読んでもみます。

『ロータリー活動に誇りを！』



国際ロータリー第 2570 地区
2026-27 年度 ガバナー
原島 生慈（秩父RC）



世界のロータリアンと接するたび、その漲る活力に圧倒されます。

彼らが活き活きとしている理由。それは、日々の小さな奉仕から大きなプロジェクトまで、あらゆる活動に確固たる「誇り」を持っているからです。

昨今、会員減少や例会の形骸化といったネガティブな課題が議論の主角になりがちです。しかし、本来のロータリーはそうではありません。私たちのいかなる活動も、必ず社会のどこかで誰かの役に立ち、「持続可能なインパクト」を世界にもたらす価値ある歩みです。

会長の皆様をお願いしたいのは、まず自らがその価値を再認識し、誇りを持って行動することです。課題を憂うだけでなく、ロータリーの可能性を信じ、その素晴らしさを背中で語ってください。

皆様が誇りを持って放つ輝きこそが、クラブの活力を呼び覚まし、次世代へと続く変化の力となります。共に、誇り高きロータリーの未来を切り拓いていきましょう。

今年度の RI 会長メッセージは「UNITE FOR GOOD」、次年度は「CREATE LASTING IMPACT」。

表現は違っても、これは別々のメッセージではないと考えます。むしろ「同じ方向を向いた連続したメッセージ」と捉えるべきだと思います。UNITE（団結）は目的ではなく、手段です。力を合わせることで、より大きな「良いこと」を行い、その成果を“未来に残る価値”へと昇華させていく。その到達点こそが IMPACT ではないでしょうか。

つながりが信頼を生み、歓迎の姿勢が参加を生み、行動が変化を生むのです。ロータリーの価値は、そこで生まれる「持続可能なインパクト」にあるのでしょう。ババロア会長エレクトの発信は、まさにその一点に集約されていると感じました。

RI 会長メッセージの中で、変化とインパクトは異なる。変化は始まりであり、インパクトは持続しなければならないものであるという話が象徴的でした。

「変化」と「インパクト」は同じようで全く異なり、変化は“きっかけ”、インパクトは“未来に残る結果”なのだと、私も強く感じ、私たちが取り組む奉仕や会員増強も、実施した瞬間の成果で終わらせず、地域の中で根付き、継続し、次の世代へつながっていく形にしてこそ意味があります。変化に満足するのではなく、その変化を積み重ねて「持続可能なインパクト」に高めていく……。この視点を常に忘れずに行動していきたいと思います。

2026-27 年度は、2024-25 年度五十幡年度から坂口（相原）年度そして原島年度の 3-year Rolling Goals の最終年度です。改めて RI は継続性の重要性を強調します。私の年度で終わるのではなく、次の五十嵐年度、齋藤年度へと継続していく事も大切です。また、各クラブが 2024-25 年度に設定した「3 年後、自分たちのクラブがどうなっていたいか」という目標設定を達成するために地区ガバナーとして、公式訪問等で各クラブの会員の皆様と一緒に考えたいと思います。